



2022年3月期 第2四半期決算 説明資料

2021年11月5日

オリコン株式会社

(証券コード：4800)

1-1 第2四半期決算の概要

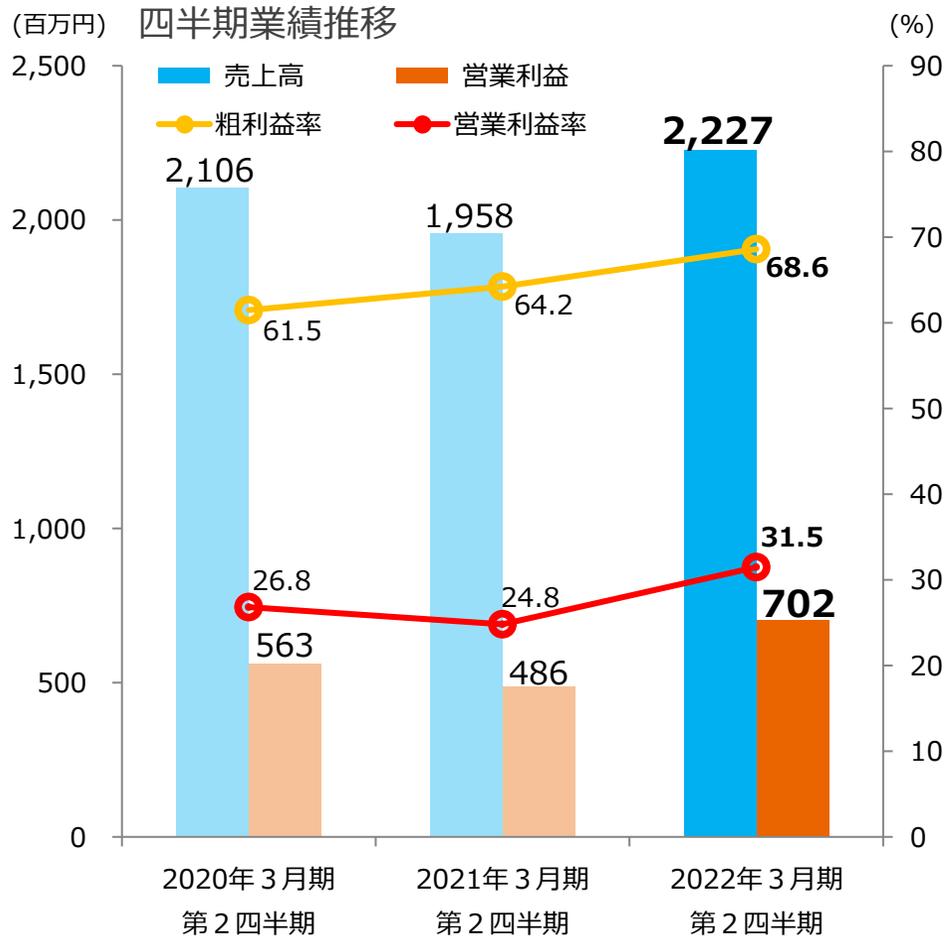
- 売上高は、前年同期と比べ、コミュニケーション事業が +25.6%、データサービス事業が +0.5%、モバイル事業が ▲23.2%、全体では、前年同期と比べ +13.7%の増収
- 営業利益は、増収によりコスト増を補い前年同期と比べ +44.3%
- 純利益※は、投資有価証券売却益が前年同期と比べ減少し ▲2.2%

売上高	： 2,227 百万円	前年同期比	13.7%	増
営業利益	： 702 百万円	前年同期比	44.3%	増
経常利益	： 693 百万円	前年同期比	45.7%	増
純利益※	： 478 百万円	前年同期比	2.2%	減

※親会社株主に帰属する四半期純利益

1-1 第2四半期決算の概要

上期は前年同期と比べ 増収増益



● 当第2四半期累計 (前年同期比)

売上高 **2,227** 百万円 (+13.7%)

粗利益率 68.6% (+4.4p)

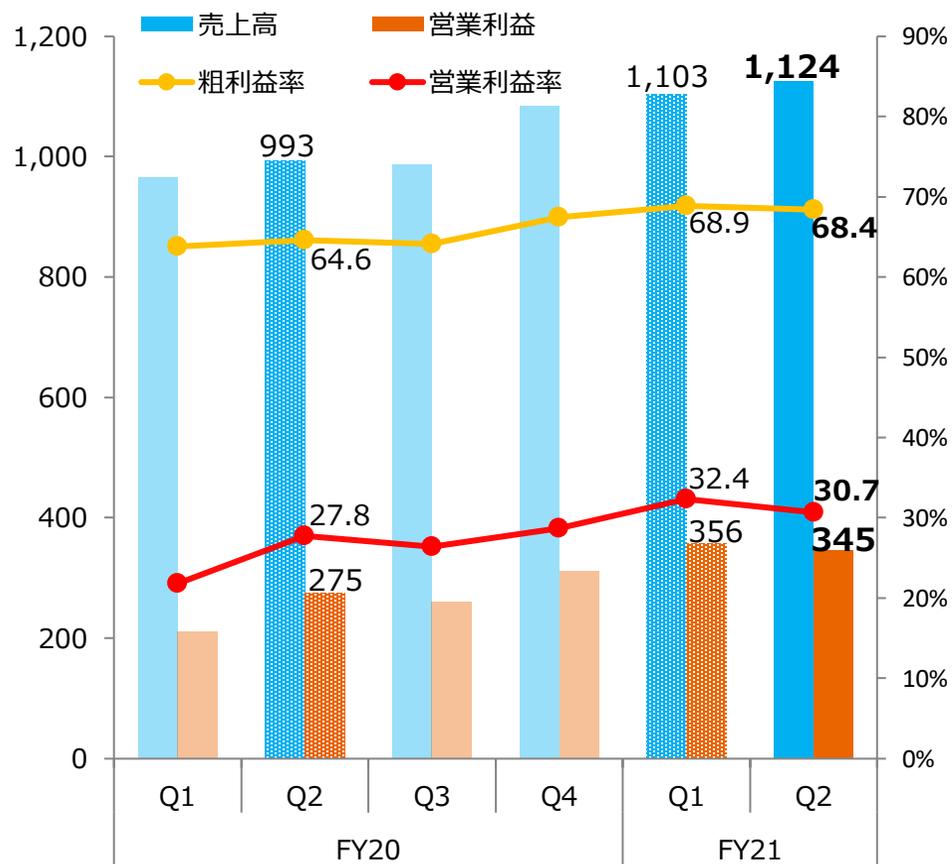
営業利益 **702** 百万円 (+44.3%)

営業利益率 31.5% (+6.7p)

コミュニケーション事業 業績牽引

第2四半期(7~9月)では、第1四半期比でも増収

(百万円) 四半期業績推移



● 第2四半期(7~9月) (前年同期比) (前四半期比)

売上高 **1,124** 百万円 (+13.2%) (+1.9%)

粗利益率 68.4% (+3.8p) (▲0.5p)

営業利益 **345** 百万円 (+25.2%) (▲3.3%)

営業利益率 30.7% (+2.9p) (▲1.7p)

営業利益は

一時的な退職金の計上 並びに
賞与引当金の積み増し等により

前四半期比で減益

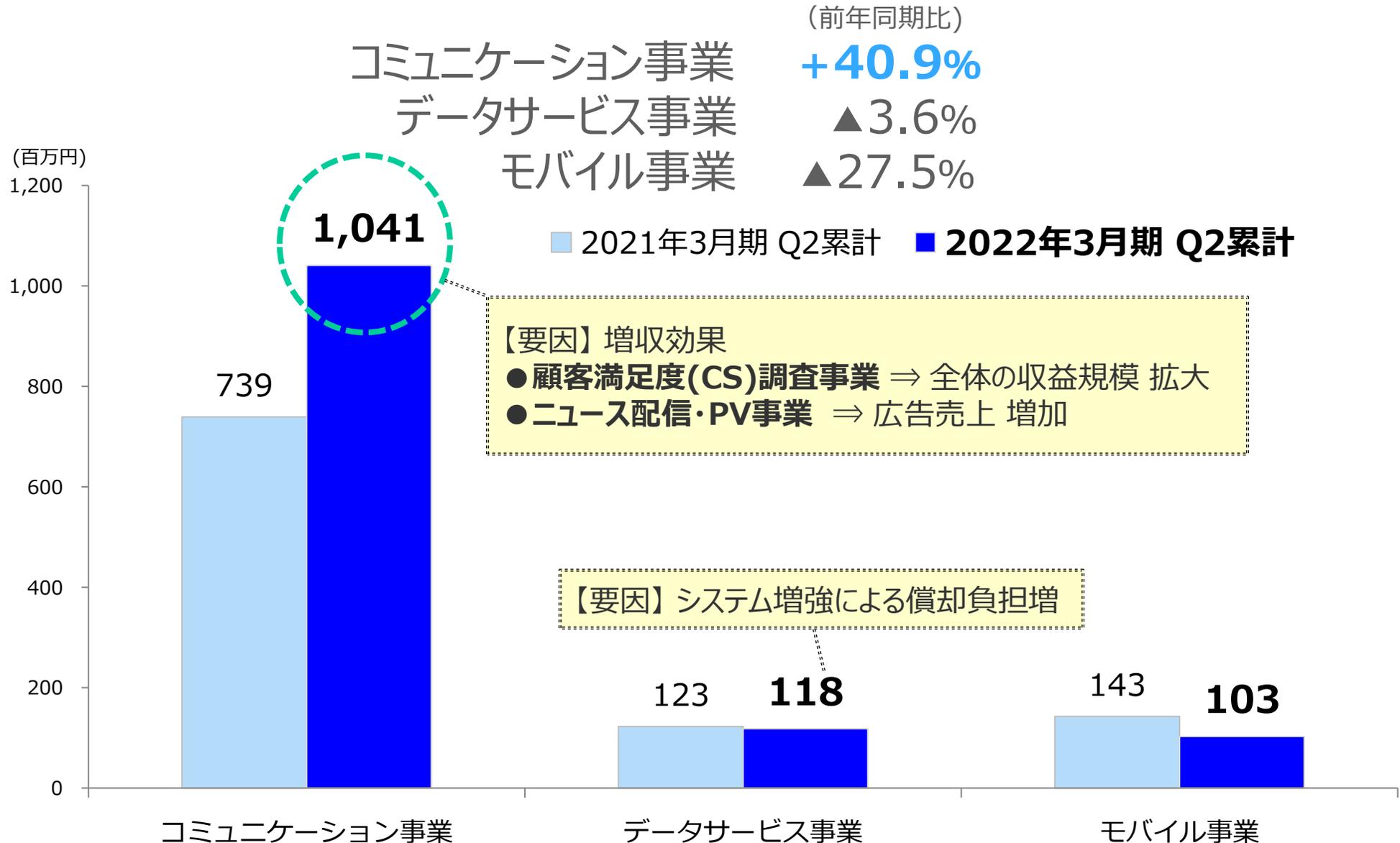
1-2 連結損益計算書

	2021年3月期 第2四半期(累計)		2022年3月期 第2四半期(累計)		前年同期比	
	(単位：百万円)				(額)	(率)
売上高		1,958	2,227	+269	+13.7%	→ セグメント別の内訳は次頁
売上原価		700	699	▲1	▲0.3%	
	(原価率)	(35.8%)	(31.4%)			
差引売上総利益		1,257	1,528	+271	+21.6%	
	(売上総利益率)	(64.2%)	(68.6%)			
販管費		771	826	+55	+7.2%	
	(販管費率)	(39.4%)	(37.1%)			
営業利益		486	702	+215	+44.3%	← 増収によりコスト増を補う
	(営業利益率)	(24.8%)	(31.5%)			
経常利益		475	693	+217	+45.7%	
	(経常利益率)	(24.3%)	(31.1%)			
税引前純利益		731	727	▲4	▲0.6%	← (特別利益) 投資有価証券売却益等前年同期に比べ221百万円減少
	(税引前純利益率)	(37.3%)	(32.7%)			
親会社株主に帰属する 四半期純利益		488	478	▲10	▲2.2%	
	(純利益率)	(25.0%)	(21.5%)			

コミュニケーション事業 前年同期比 +25.6%

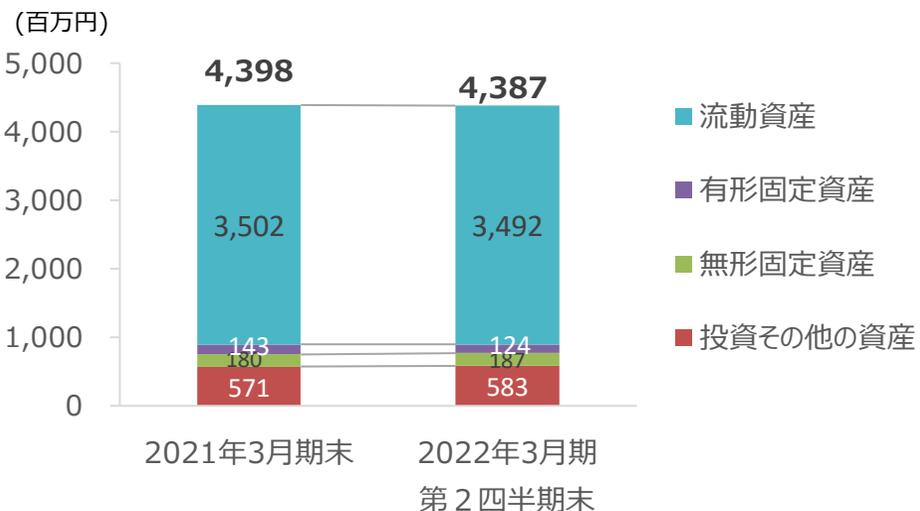
	2021年3月期	2022年3月期	前年同期比	
	(単位：百万円) 第2四半期	第2四半期	(額)	(率)
コミュニケーション事業 (コンサルティング事業含む)	1,322	1,660	+338	+25.6%
顧客満足度 (CS) 調査事業	636	884	+247	+39.0%
ニュース配信・PV事業	686	740	+53	+7.9%
データサービス事業	330	332	+1	+0.5%
モバイル事業 <small>スマートフォン向け事業 フィーチャーフォン向け事業</small> } 一体管理	305	234	▲70	▲23.2%
売上高合計	1,958	2,227	+269	+13.7%

1-4 セグメント別営業利益

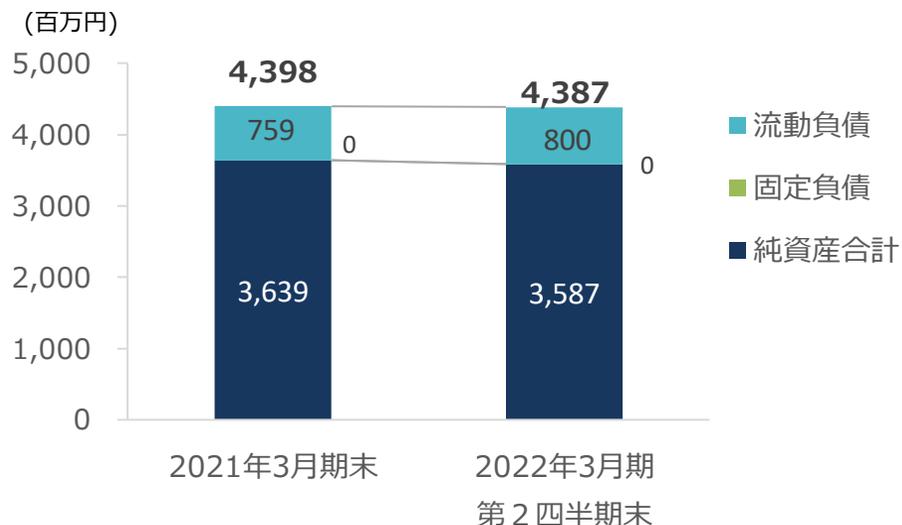


1-5 連結貸借対照表

● 資産



● 負債・純資産



(単位: 百万円)	2021年3月期末	2022年3月期 第2四半期末	増減
流動資産	3,502	3,492	▲10
有形固定資産	143	124	▲18
無形固定資産	180	187	+6
投資その他の資産	571	583	+12
資産合計	4,398	4,387	▲10

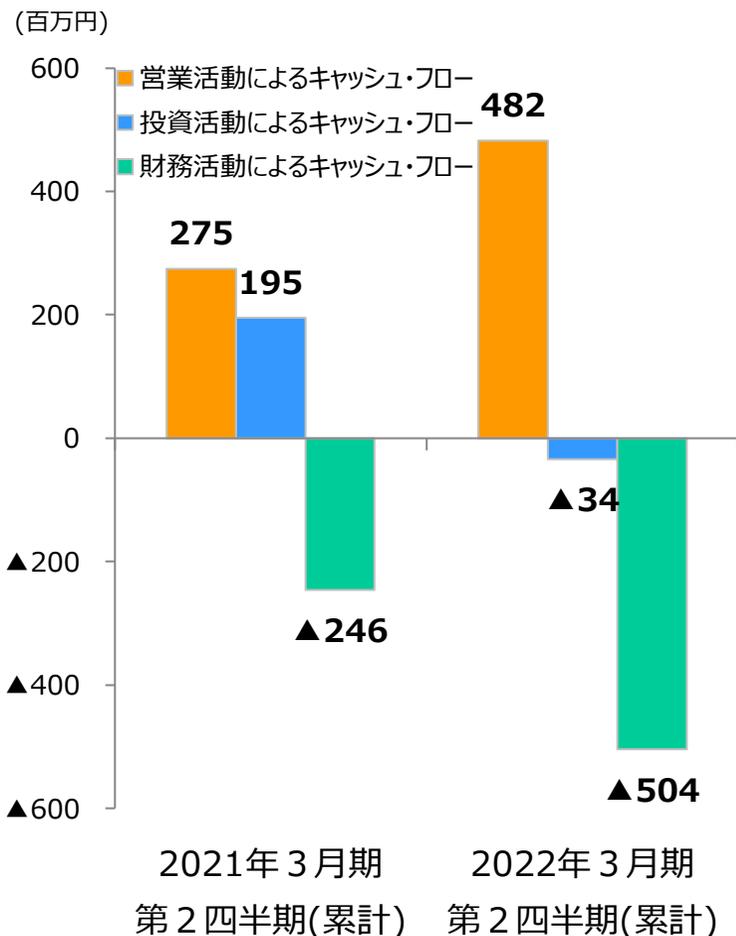
(単位: 百万円)	2021年3月期末	2022年3月期 第2四半期末	増減
流動負債	759	800	+41
固定負債	0	0	-
負債合計	759	800	+41
純資産合計	3,639	3,587	▲52
負債・純資産合計	4,398	4,387	▲10

第2四半期末で取得価額 269百万円 自己株式取得を実施 未払費用等の増加

自己資本比率は **81.8%** (前期末から▲0.9ポイント)

1-6 連結キャッシュ・フロー

	(単位：百万円) 2021年3月期 第2四半期(累計)	2022年3月期 第2四半期(累計)	前年同期比 増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	275	482	+206
投資活動によるキャッシュ・フロー	195	▲34	▲230
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲246	▲504	▲257
現金及び現金同等物の増減額	224	▲56	▲280
現金及び現金同等物の期首残高	2,160	2,784	+624
現金及び現金同等物の期末残高	2,384	2,728	+343



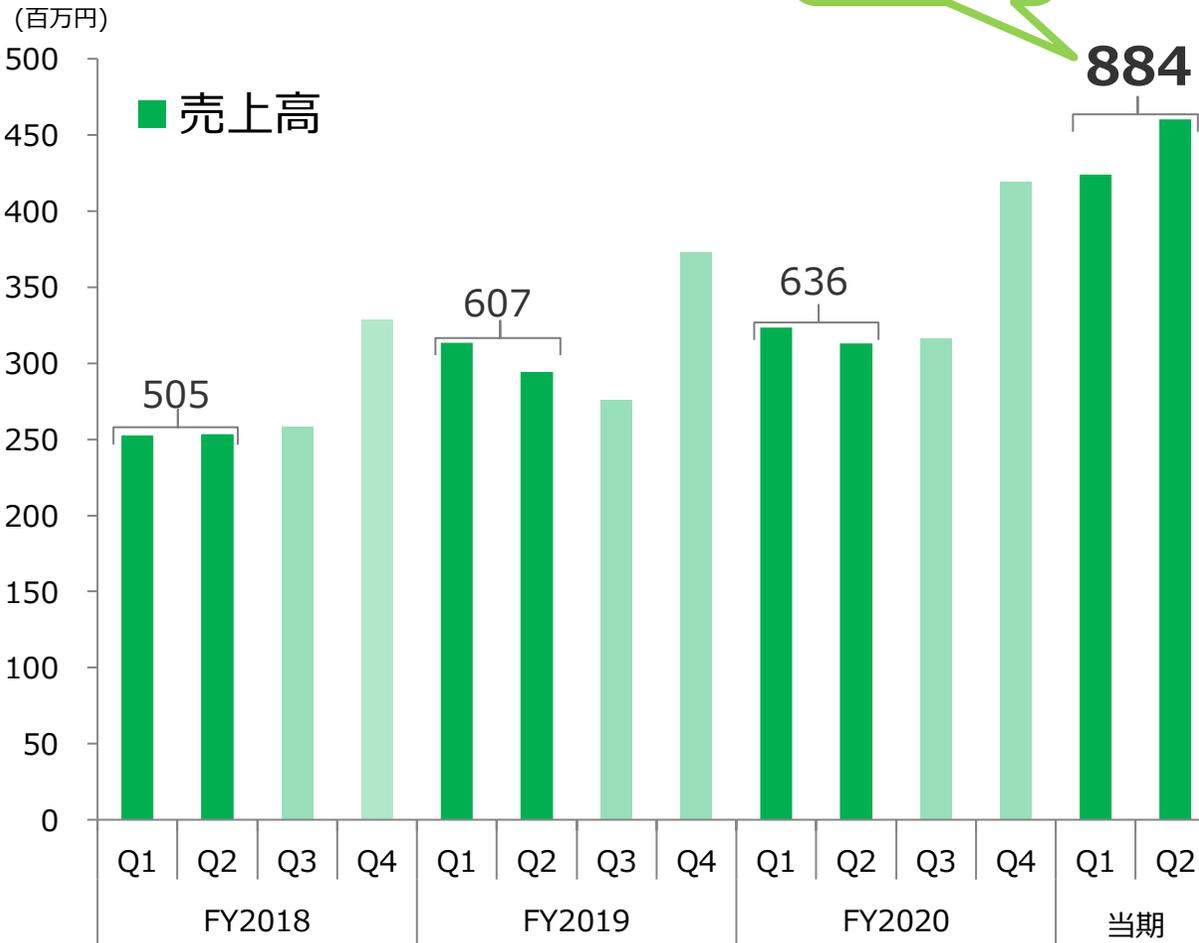
主なプラス要因 ⇒ 税前利益 + 727百万円、投資有価証券売却収入 + 34百万円

主なマイナス要因 ⇒ 法人税等支払 ▲247百万円、固定資産取得 ▲44百万円、
自己株式取得 ▲269百万円、配当金支払 ▲234百万円

2 事業の状況 コミュニケーション事業①

◆顧客満足度(CS)調査事業

【四半期業績推移】



(三つの提供サービス)

商標利用契約

デジタルプロモーション(送客)

データ販売

いずれも好調
収益規模拡大

2 事業の状況 コミュニケーション事業②

◆顧客満足度(CS)調査事業

カテゴリ別ランキング一覧

■保険

自動車保険/バイク保険/自転車保険/火災保険/海外旅行保険/ペット保険/
生命保険/医療保険/がん保険/来店型保険ショップ

■金融

ネット証券/iDeCo 証券会社/ネット銀行/ネットバンキング/外貨預金/住宅ローン/
FX取引/銀行カードローン/ノンバンクカードローン/スマホ決済サービス/
暗号資産取引所 現物取引/ロボアドバイザー

■塾

大学受験 (塾・予備校 現役/個別指導塾 現役/難関大学特化型 現役) /
高校受験 (集団塾/個別指導塾) / 中学受験 (集団塾/個別指導塾) /
公立中高一貫校対策 集団塾/小学生 (集団塾/個別指導塾) /
(小/中/高校生向け) 通信教育/家庭教師/幼児・小学生 学習教室 /
幼児教室 知育

■スクール

英会話スクール/子ども英語 (幼児/小学生) /オンライン英会話/通信講座

■生活

ふるさと納税サイト/ウォーターサーバー/カフェ/ハウスクリーニング/引越し会社/
トランクルーム (レンタル収納スペース/コンテナ) /宅配型トランクルーム/
食材宅配サービス/ネットスーパー/定額制動画配信/中古車情報サイト/車買取会社/
マンガアプリ (総合型/出版社公式/オリジナル) /電子書籍サービス/
フードデリバリーサービス/中古車専門販売店/メーカー系中古車販売店/車検

■通信

格安SIM/格安スマホ/プロバイダ/インターネット回線

■住宅

不動産仲介 売却 (マンション/戸建て) /不動産仲介 購入 (マンション/戸建て) /
分譲マンション管理会社/賃貸情報店舗/賃貸情報サイト/
リフォーム (大型/戸建て/マンション) /新築分譲マンション/ハウスメーカー 注文住宅/
建売住宅 (ビルダー/ハウスメーカー/デベロッパー) /マンション大規模修繕会社

■小売

カー用品店/タイヤ専門店

■トラベル

ホテル (ビジネス利用/観光利用)

■美容

エステサロン (フェイシャル/ブライダル/痩身・ボディケア) /サロン検索予約サイト/
脱毛サロン/脱毛クリニック

■スポーツ&ヘルス

フィットネスクラブ/キッズスイミングスクール

■ウエディング

ハウスウエディング/結婚相談所/結婚式場相談カウンター/結婚式場情報サイト/
恋活・婚活マッチングアプリ

■人材

就活エージェント/就活サイト/求人情報サービス/転職サイト/転職エージェント/逆求人
型就活サービス/看護師転職/ハイクラス・ミドルクラス転職/人材派遣会社/製造派遣/
派遣情報サイト

■レジャー

映画館

■ビジネス

ネット印刷通販/ビジネスチャットツール/Web会議ツール

7~9月 追加発表ランキング

- 映画館 全国 ●映画館 北海道 ●映画館 東北
- 逆求人型就活サービス ●タイヤ専門店 ●車検
- マンション大規模修繕会社 ●通信講座 行政書士

計 186 ランキング

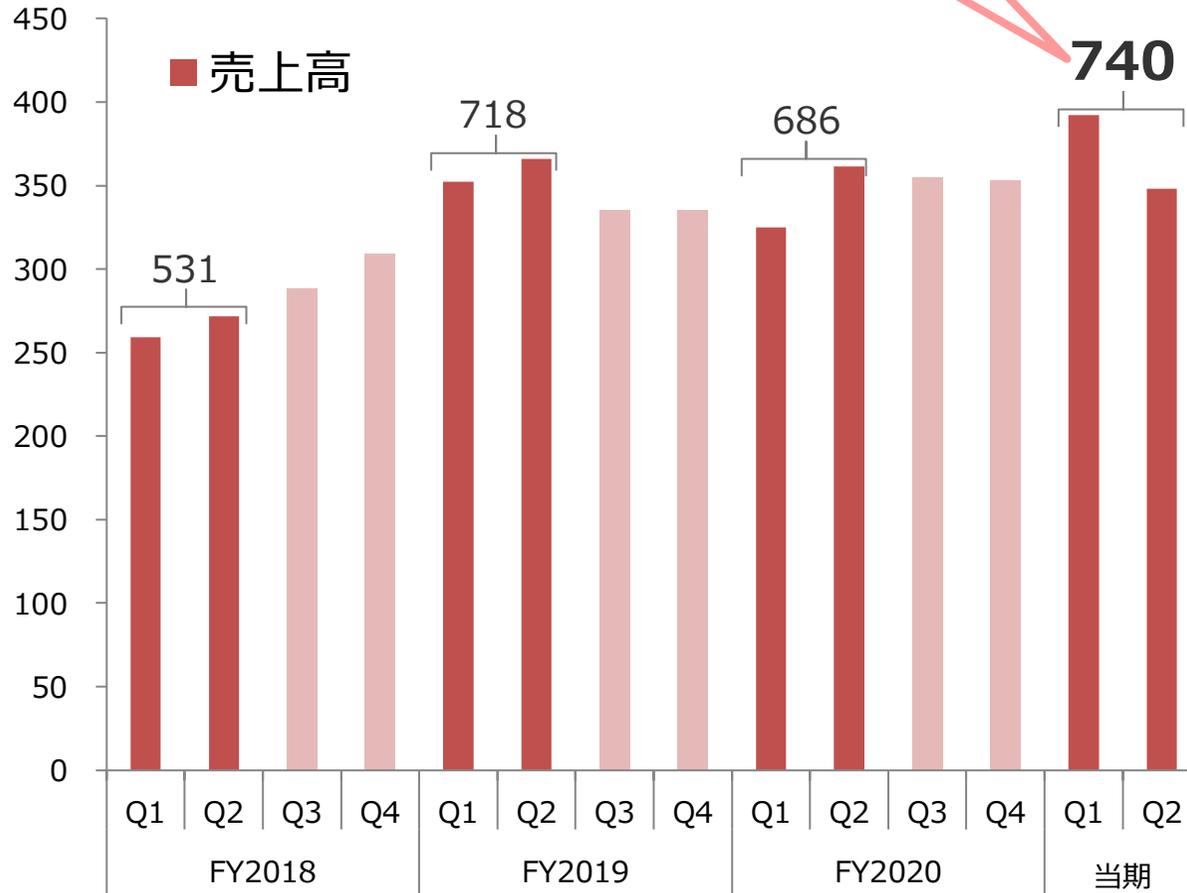
(2021年9月時点)

2 事業の状況 コミュニケーション事業③

◆ニュース配信・PV事業

【四半期業績推移】

(百万円)



〔前四半期比 減収の要因〕

東京オリンピック・パラリンピックへの
関心の高まりなどにより
エンタテインメントの話題が限定的

市況要因により第1四半期と比べ
セッション・動画の単価が低調推移

◆ニュース配信・PV事業

自社メディア「ORICON NEWS」 セッション数の推移



※ 従来の「PV数」に代わり
収益との連動性がより高い
「セッション数」を公表

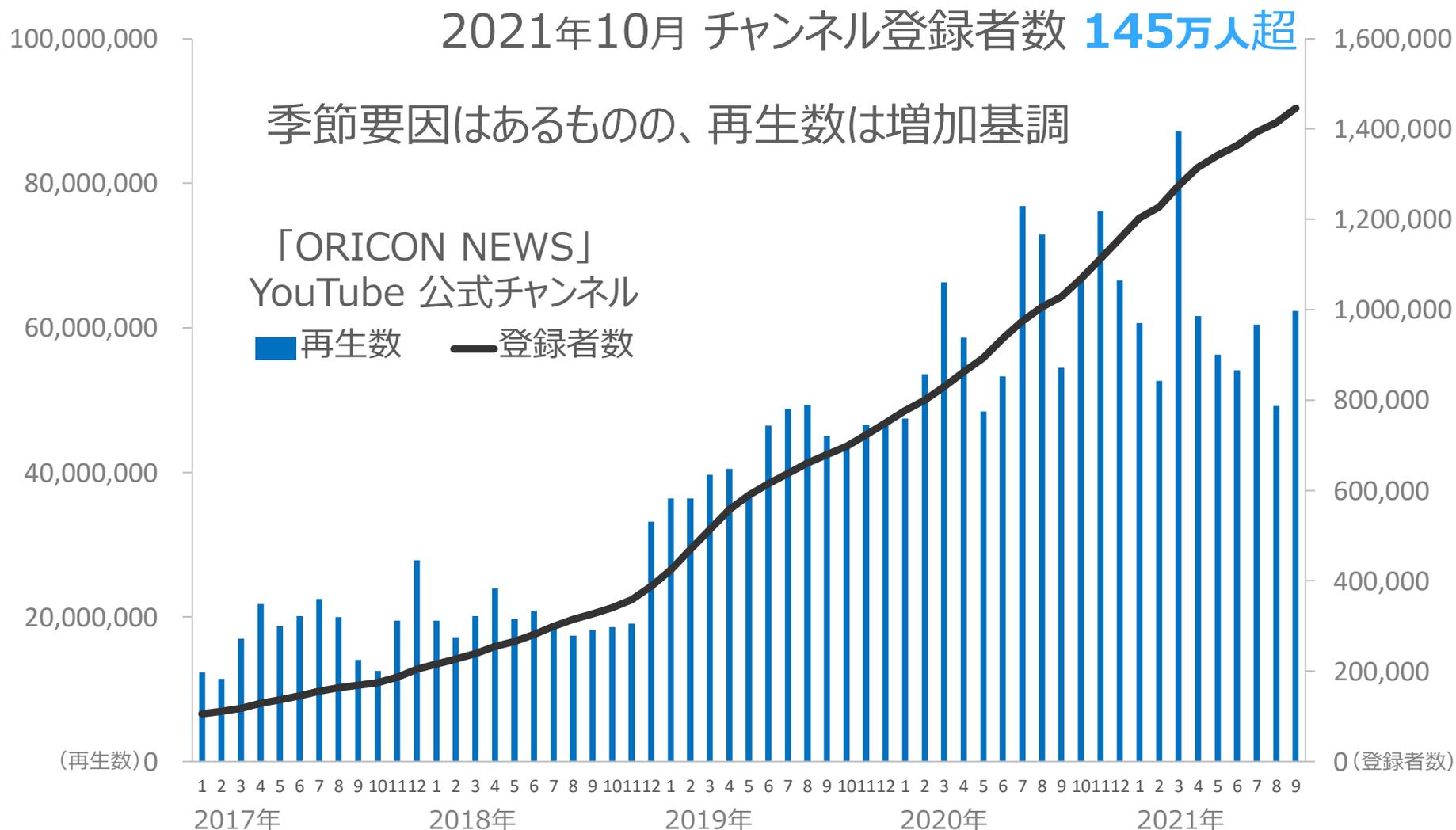
上期 (4～9月)
前年同期比

約**15% 増**

Q2 (7～9月)
前年同期比

約**10% 増**

◆ニュース配信・PV事業



連結業績予想数値（2021年5月11日公表）の**変更はありません**

	2021年3月期 通期実績 <small>(単位：百万円)</small>	2022年3月期 通期予想	前期比		2022年3月期 第2四半期実績	上期 進捗率
			額	率		
売上高	4,030	4,460	+429	+10.7%	2,227	49.9%
営業利益	1,058	1,230	+171	+16.2%	702	57.1%
経常利益	1,043	1,210	+166	+15.9%	693	57.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	860	860	+0	+0.0%	478	55.6%

4 【ご参考】新市場区分の選択

- 2021年9月22日
取締役会決議後、東京証券取引所に市場選択申請
- 2022年4月4日
新市場区分「**スタンダード市場**」へ移行予定



今後もコーポレート・ガバナンスの更なる充実を図る

SDGs*を重要な経営課題であると認識
全17の目標から、当社の事業と結びつく4つを重点項目とする



* SDGs : 「Sustainable Development Goals」 2015年9月の国連サミットで採択された、2030年までの国際目標

事業の継続的な成長と利益追求を目指す



・性別問わず個々人の能力による管理職への登用を実施 等

＊ 今後における女性管理職割合の目標

- 部長以上 2021年時点 20% → 2025年までに30%
- ユニット長（課長相当職）以上
2021年時点 27% → 2030年までに40%



・企業活動に必要な電力を2030年までに100%再生可能エネルギーに切り替えることを目指す

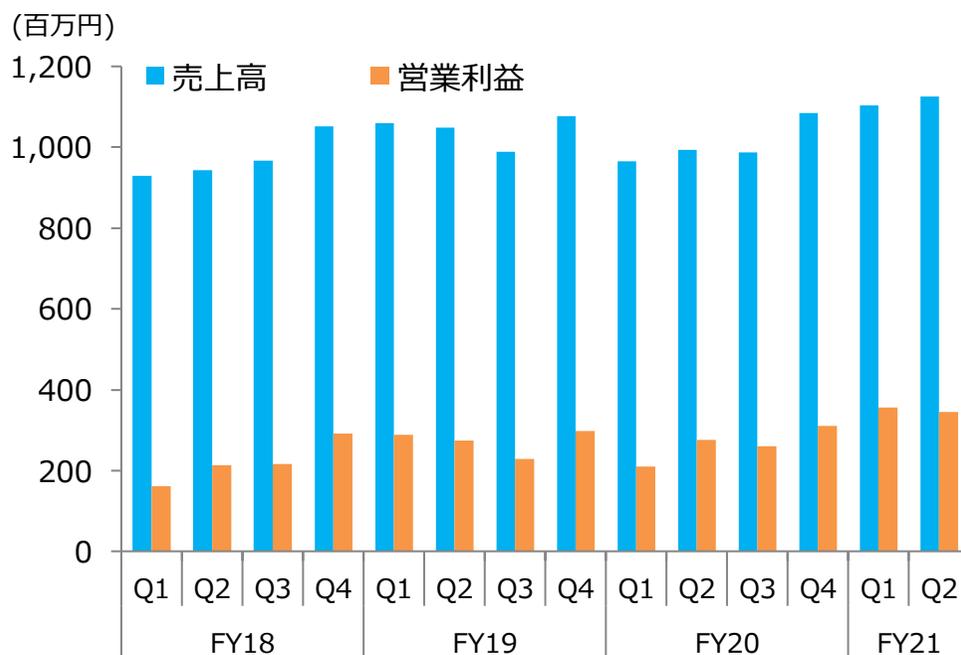


- ・顧客満足度(CS)調査事業では、サービス産業をより高い品質のサービスが拡大する社会へ先導し、持続可能な産業化の推進とイノベーションの拡大を支援
- ・新たな評価項目「SDGsへの取り組み」を追加

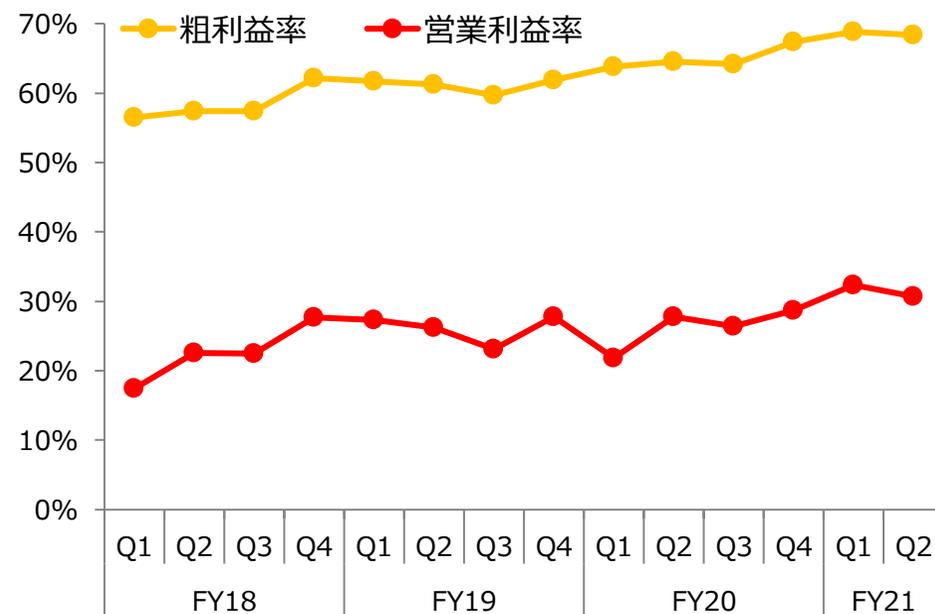


- ・LED化工事により、オフィス使用電力量削減
- ・再生可能エネルギーの利用により、
2030年までに温室効果ガス排出ゼロを目指す

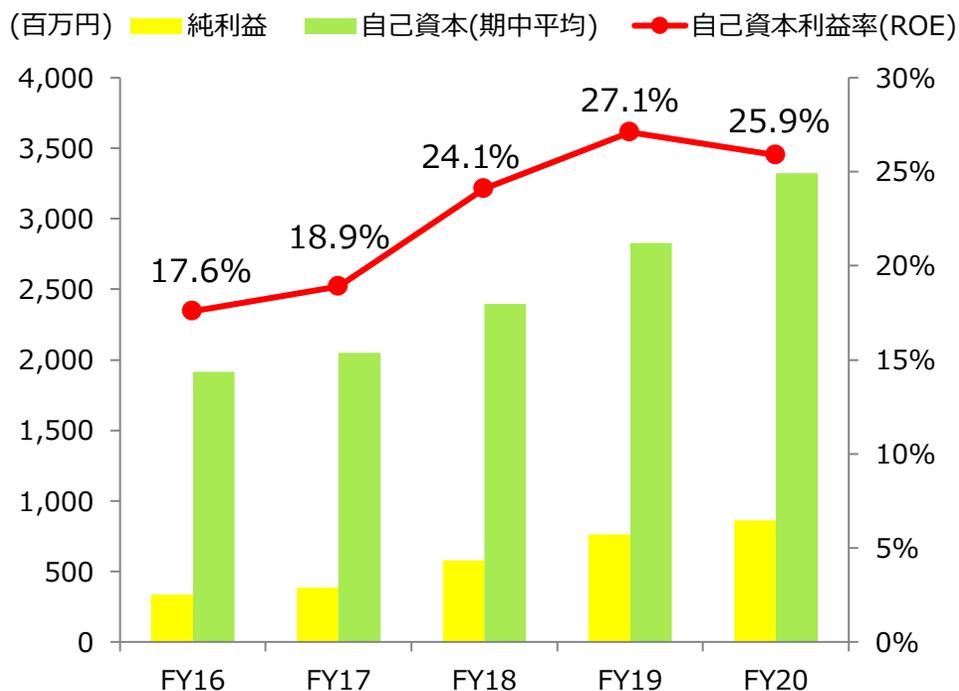
◆ 四半期推移



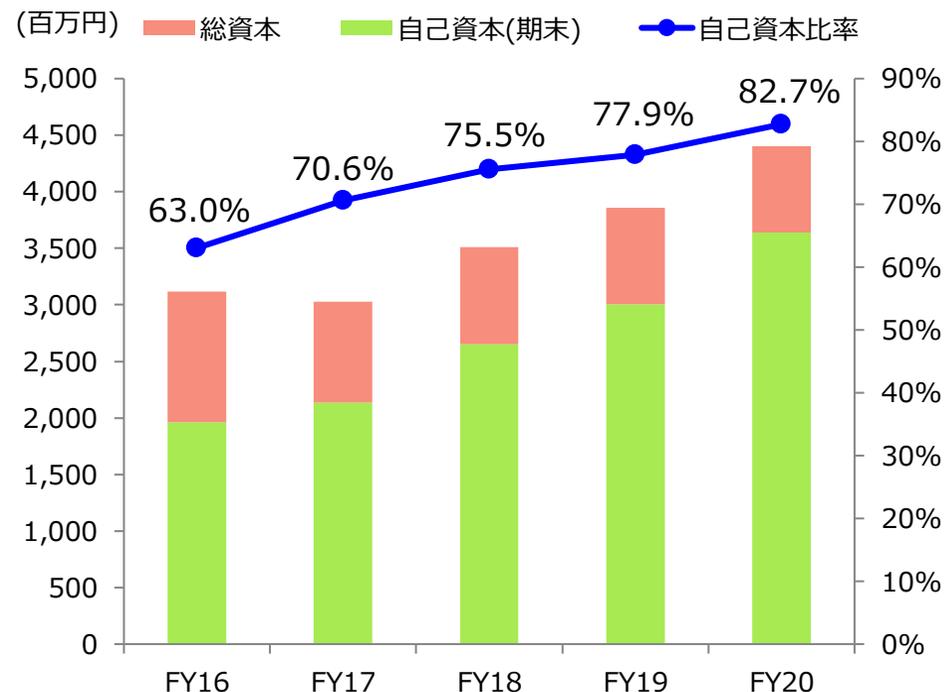
◆ 利益率



◆ ROE



◆ 自己資本比率



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

オリコン株式会社
<https://www.oricon.jp/>